

MIDORI

# みちしるべ

緑区民生委員児童委員協議会

第66号

-発行-

緑区民生委員児童委員協議会

機関誌編集委員会

発行責任者 会長 松浦 正義

横浜市緑区寺山町 118 番地  
930-2328

## 緑区民生委員児童委員協議会会長就任のご挨拶



令和4年12月1日の一斉改選により、引き続き、緑区民生委員児童委員協議会会長に就任しました松浦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

民生委員・児童委員、主任児童委員は様々な困り事や心配事に関する相談に応じ、必要な支援が受けられるよう、区役所や専門機関につなぐ「つなぎ役」として活動しています。

しかし、特に何か資格があるわけではありません。様々な分野の研修を受講する機会がありますが、専門的な教育を受けたわけでもありません。仲間同士相談し、専門機関に確認する場面も少なくありません。また、まだ子どもが小さかったり、普段は働いていたりと多忙な委員も多くいます。それでも、全員が「同じ地域に住むものとして少しでも皆さんのお役に立ちたい」との思いで頑張っています。

近所の子供達から「おじちゃん、おばちゃん」と挨拶されたり、高齢の方やそのご家族から声をかけていただいたりすると元気が出ます。これからも皆様の笑顔が見続けられることを願い活動していきます。

民生委員・児童委員及び主任児童委員をよろしくお願いいたします。

緑区民生委員児童委員協議会会長 松浦 正義

## 緑区長就任のご挨拶



4月に着任しました緑区長の佐藤<sup>さとうやすひろ</sup>康博と申します。よろしくお願いいたします。

私たちの生活に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症は、地域での様々なふれあいの場を奪っていきましたが、その様な中で民生委員・児童委員の皆様は、訪問や食事会、各種サロンの開催など、さまざまに工夫をいただきながら地域活動の継続・再開で御尽力いただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、横浜市の市政運営の方向性を示す「横浜市中期計画 2022～2025」では、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を基本戦略に掲げています。緑区役所においても「次世代につなぐ みんなにやさしいまち『ふるさと みどり』」を令和5年度運営方針の基本目標とし、コロナの収束を見据えた「安全・安心なまち」「いきいき暮らせるまち」「みどりの魅力あふれるまち」の実現に向けたさまざまな施策に取り組めます。

子ども達は元気に友達と遊んでいて、若い方は活気に満ち溢れ、高齢の方は仲間とともに健康でいきいきと生活している。その様な緑区を次世代に引き継いでいきます。

そのためにも、日頃から地域に寄り添い活動いただいている民生委員・児童委員の皆様とは、連携を密に一緒になって、様々な取組みを進めていきます。引き続き、お力添えをお願いいたします。

結びになりますが、皆様自身、健康に十分留意して活躍いただくことをお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

緑区長 佐藤 康博

# 緑区 各地区民児協会長・主任児童委員代表紹介

緑区民生委員・児童委員、主任児童委員は各地区会長のもと、生き生きと活動しています！

Ⓔ…民生委員・児童委員 Ⓕ主任児童委員

## ★主任児童委員 連絡会代表 高林 綾子

私たちは子どもと子育て家庭を身近で支援する「おせっかいおばさん」です。笑顔と挨拶であふれる地域になるよう活動していきます。

①東本郷地区 氣田 百合子 Ⓔ17人 Ⓕ2人  
笑顔で活動を心がけ、そっと寄り添う「つなぎ役」として、明るく住み良い街づくりのお手伝いをしたいと思います。

⑥山下地区 澁井 まどか Ⓔ18人 Ⓕ2人  
緩やかな見守りとさり気ない寄り添いで各自治会や行政等とも連携し、災害時における要援護者の方々への支援の輪も広げて参ります。

⑨十日市場団地地区 羽鳥 節子 Ⓔ11人 Ⓕ1人  
新人研修に先輩委員として参加し、再度勉強させて頂きました。『小さな気づき 寄り添う心 頼れる地域の「つなぎ役』として皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

③竹山地区 青木 良博 Ⓔ8人 Ⓕ2人  
地域の人々が「自分らしい暮らし」ができるよう関係諸団体と連携し、地域で支える身近な相談相手として笑顔で接して行きます。

②鴨居地区 西川 克美 Ⓔ13人 Ⓕ2人  
コロナ禍から新しい日常へ、鴨居地区15人で相談し地域と協力して笑顔で活動していきます。

④白山地区 森 忠民 Ⓔ14人 Ⓕ2人  
委員16名は愉しさをモットーに、地域と連携して「気づき、見守り、つなぐ」の活動をしています。

⑦三保地区 辻 伸子 Ⓔ15人 Ⓕ2人  
『小さな気づき 寄り添う心 頼れる地域の「つなぎ役』をモットーに地区全員で活動していきます。

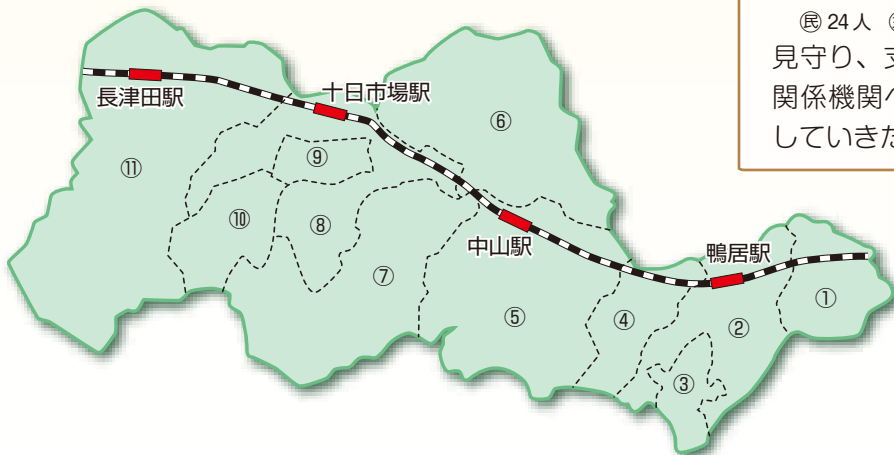


⑪長津田地区 田中 成男 Ⓔ42人 Ⓕ3人  
支援を必要とする方々の身近な相談相手になれるよう、関係機関と連携して活動していきたいと思っています。

⑧新治西部地区 松浦 正義 Ⓔ11人 Ⓕ2人  
新治西部地区は、with コロナを明るく、元気に、楽しく活動していきます。

⑩霧が丘地区 上田 公代 Ⓔ18人 Ⓕ2人  
高齢化が進む中、住みなれた地域で安心して暮らせる様、関係機関と連携して活動したいと思います。

⑤新治中部地区 正木 きよ子 Ⓔ24人 Ⓕ2人  
見守り、支援等を必要とする人の関係機関へのつなぎ役として活動していきたいと思っています。



横浜市版民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」

## 新任サポート研修に参加して

3月4日、緑区役所内で開催された研修に参加してきました。主に民生委員活動に関するビデオ視聴と先輩の方達とのディスカッションでした。

研修を受けた後は人間関係の大切さと、それには忍耐が必要と感じました。そして何事においても急ぎ過ぎは良くないという事でした。相手の立場に立った話し方と受け止め方は簡単では有りませんが、それが無ければ相手も心を開かないと教えられました。

人の話を聞くことはある意味忍耐が必要とも思いました。又、自分の立ち位置によって内容が違ってくる事もディスカッションの中で学んだひとつでした。

今回初めて民生委員・児童委員を務める訳ですが、思った以上にいろいろな事が関連してくると感じ、3年間が大変になると改めて受け止めています。この先は、諸先輩方のアドバイスを受けな

がら、自分なりの民生委員活動をしていこうと思った次第です。

今回の研修に参加した感想は、今後の自分にとって非常に参考になり、出席して良かったというのが実感でした。

十日市場団地地区 三好 一明



## 主任児童委員活動報告

新治中部地区は、中山駅が最寄りの駅となる中山町、上山町、寺山町、台村町、森の台の広い地域からなっています。コロナ禍においては、小学校、中学校の学校行事への参加は残念ながら見送られてきましたが、4ヶ月までの新生児を対象としたこんにちは赤ちゃん訪問や放課後キッズクラブ、保育園等の第三者委員としての活動は行ってきました。

また、主任児童委員は民生委員の一員でもあるので、高齢者の方々を対象とした行事や自治会の行事、会議等にも参加しています。

with コロナ時代となりコロナ前の生活に戻っ

て来ました。これからは学校や地域の皆さまの力をお借りしながら、子供たちが安心して過ごせるように微力ながらも活動していきたいと思っています。

新治中部地区主任児童委員  
戸川 陽子・古川 真理子





# おめでとうございます!



長きにわたる活動の功績により、多くの民生委員・児童委員が表彰されました。

(敬称略)

## ○社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

(令和4年12月13日 受賞)

松浦 正義 (新治西部)

## ○緑区社会福祉大会顕彰 (令和5年3月1日 受賞)

高林 綾子 (東本郷)

福見 豊子 (三保)

堀川 智子 (十日市場団地)

塩澤 哲夫 (白山)

高間あや子 (新治中部)

小坂 隆子 (白山)

## 地区だより 三保地区

緑区の中央に位置し、三保市民の森など広大な緑地と公営の集合住宅やマンション、戸建住宅ほか福祉施設も多くあります。人口15,344名、6,417世帯(令和5年1月31日現在)。10自治会から成り、昔から住む人たちに加え、子育て世代など新たに住む人たちが増える中、高齢化も進んでいます。

私達15名の民生児童委員と2名の主任児童委員は地域の身近な相談相手になり、必要に応じて行政機関や地域ケアプラザ、小中学校等への「つなぎ役」になります。地区社会福祉協議会主催の「三保ミニデイ」や「三保小学校1年生との昔あそび」ではボランティアの方々と一緒に参加します。また単位自治会が独自に取り組む「支え愛の会」や「思いやり活動」「移動販売」「児童登下校時の見守り」など担当地区の民生児童委員として活動に参加し、ゆるやかな見



守り活動を行っています。

三保地区には気軽に集まれる公共施設がないことが長年の課題でした。当時の連合自治会会長のご尽力と企業、個人のご協力を得て令和元年に「さんさんルーム1号館・2号館」が開設、現在は住民の居場所として会議やサークル活動に利用されています。

三保地区 辻 伸子



### 編集後記

2月6日に一斉改選後初めての「みちしるべ」編集委員会が開催され、新体制での活動がスタートしました。私たちの生活を一変させたコロナ禍の収束の兆しを感じ

る今日この頃、編集委員一同、明るいニュースをお届けできることを願い、また、より多くの方々に民生委員の活動を知っていただけるよう活動していきます。

編集委員長 石川 多美